特 別
チ12
3643
20

高砂

春の林の朝霧のようにうすく秋の出の月の清き夜のもくもく

宮つこたち　西の海おはきげ原

弓八幡

人皇の世代はいくそばいちの高社の世神なりし世のく

神切皇后　皇位をひしくの玉冠民も　人をよく

世のためしくかや　月鄙より　ぞうあの玉宮体の歌

たりも今は久しくの歌のくるの　をかの玉のあれ拾ふ

誠よ志も鄙致し　八幡三所の神徳を見ぬ

きまして異香芳ばしく　双所なく志ゆのくるくと

寄こそいくしくしるがくし神の威光ハ　君を思ひの

世ちくしびあちより　天下一統くあくらくよく神代

鳩沢れの風ハでとぶる神徳とあらぶし

八幡の神徳ぞ

離波

秋もたけ山君と代のためのよ引事も　三年の世間ゆくまも

てやるなるの氏のまこ濃乃志鄙和数つもりて　鶴の花

くけとえて御位きくめ早きて　見て美しく花の下仰

変る花の世〳〵見紀たる国ちきふ多て音楽の花

小さくの鳴ぶ　より自　春風く吹くよ花を

涼たてうけハの島づけ　校頭の曲ハ作るの方

ゆりうしし　五仁くいつしし　志士ろう

・

追松

千代万代の世代花地

法ゆ世ゆるれたのえの海さひくる　勝竹、松柏のかる鉄し

晨鐘夕梵の響たゆ　明くらぐるのとくりそ

世自家まて　我朝はかの世〳〵かんる　春乃帝の世ハ

故
梅若誠太郎氏
昭和四年月日
梅若重子氏
寄贈

[illegible]

離波

・[illegible]ハ君と代々のためしなる事を　・三年の内用ゆるまて[illegible]

・[illegible]　・[illegible]花

・[illegible]　・[illegible]花の下陰

・[illegible]　・[illegible]

・[illegible]　・[illegible]

・[illegible]　・[illegible]

国人の金紙のくさ百風と　神ひちて掬ぶよの
今ハ咏りて秋君よ　潟のひぐきも多ともしぐ苔

・竹生嶋

為社さゝ波や志賀の海おとあるハ松人うゝしや花ゆ
山ハ松の屋ゆ霞やゆ霞流まる春の景ひ〻ゆ花ゆ吹
さて〻おきこぐあもやすゝ　・同じ　ぬのよ　ゆ　衣
潟をゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　樹
面白の潟ゆ　・　・　・　・　・　・　・　・　・
小ぐ　れ　ゆ　ゆ　・日月　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
潟よ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

・志賀

文ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

・

・

・

・白あやめや春の山ぶき　紅葉の

・ほとゝぎす

懐通

・ちはやぶる　・ほとゝぎす　・ほとゝぎすの

雜什ひろよ　・伊勢の海の　・ほとゝぎす

・ほとゝぎす　・秋の月　・ほとゝぎす

・南枝の梅　・胡馬北風　・宮人の

・あれはとれるしゝ　・ふるさと

加茂

・石清水　・神の　・神の

・神の　・神の　・神の

・神の　・神の　・神の

・神の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

海藻刈

今日もそこもの神まつりとて[illegible]たが　ほりでの[illegible]豊玉姫と
玉井の[illegible]ぬしとなりたまふ事なれば須ひきれば
[illegible]　あてそんの[illegible]　[illegible]
[illegible]　朝霧のはかあらぬ[illegible]海藻
多[illegible]　下ハ下界の
道と[illegible]　人の[illegible]
[illegible]神まて　[illegible]

[illegible]

[illegible]

五月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

田村

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

片うら浪とほくちかし　かりねのゆめもいのるらん
いとくゝ夜うちふかし　れぬ恨のさゝ衣日ごとにてる
花のたもとにうちこゝろ　ゝとあて　ゝとてち
りぬちの　ゝとくゝと住吉ぬぎうら
浦とれ風とゝ　ゝ　ゝ　

・西海の潮はうみやまよりひげをはやしてくるぞ　・はるかくくとてもてわるあの家の
・紅の波や　・宮流の川橋井海のほとりをもはしる

・ひかもうく広い海まで　・体の向引ちらす　・一騎もかがまず　・我ちくくと独りよ

貫魚

・蒙黄おぐ〜のようひうて　・金れ宗ちとんだ　・朱貫は
・金松を取よ蘇〜　・紅でくづまして　・ぐくと花ちりが

法経

・五月のよたぐまよ行のまのゾん　・うこせれい獨寝の
・よるをふひく妙り　・芳を白も美服ちりちくまづし
・たづはいかくき　・月は法鈴　・老欲貪一通去道場
・西海告海のかんぐ紙　・諸はらい又一会みるもの
・実も白は法経の実もんは

忠則

・ひまりふせとすてし法僧の　・老正年ちたり老ての花乃
・法よりて　・言伝　・西ちは新よ海りつぐ宗永仏ゆか
・ぐく　・行く見てぬ山の紙乃　・行ちの花よ　・海風まで

もちかくく春よきくぐふちすぐ　・今秋
りるく　・万戦集紙撰まるぐ茂京のセッチちりのきみう
げけたあいろく　・いろがりくまし方の物

・引ひし茂京の家よひさ　・六法ちう前ぐそうし法
・よりを西ひりうよちたのりがたの四ひら紙ま海
・せ花のよとをて云弥ちけ花ぐはは
・しとおりひしひば茂このきなくんをよ西ちぐまんく云
・行すぐ元四遍性十方世界云仏流生拾取不捨くちくん法
・去茂のうちりも忠沈ハを西ちうを西くを太力を校
・をちに法ちりかくどま流すい　・いくりをさ人乃
・たくさ紙

反鴻

・馬よりちをよぐちおつ海ちは　・浦の陸松風をりの
・ちをくくしくで　・ぐよりくる執をを海を海乃
・法よ行ちうくをくくちりちりも　・云時に美芸中やくた
・義経はくこぐ弓第紙　・よりまを支ちるけもんをがり

・男者ハ忠をすの頂も今を沈極弓りくくるば
・あくあくしりくくいをりめ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

服梅

・名ハ[illegible]武士の[illegible]の花をしく[illegible]筆の[illegible]
[illegible]の[illegible]筆の[illegible]
二花開きてハ天下の　・のうちよりつゝ[illegible]その
[illegible]の山[illegible]もれ[illegible]の書もきく[illegible]の[illegible]
きく[illegible]の[illegible]　・[illegible]
きく[illegible]　・嵐も波もすまの浦ちかきもかの紀
[illegible]人つゝの[illegible]ハ[illegible]曹操が[illegible]の[illegible]

・[illegible]の梅花[illegible]
月入　・[illegible]紀生の[illegible]
[illegible]　・[illegible]ハ[illegible]

・京[illegible]ようとあり[illegible]

經政

・同しく[illegible]のこゝも　・[illegible]
[illegible]　・[illegible]經政い
[illegible]の中[illegible]　・[illegible]

・紙[illegible]　・たゝのいハ火をたゝしゞ[illegible]
[illegible]

井筒

・昔[illegible]の[illegible]
花の[illegible]ハ[illegible]
[illegible]　・妹背の[illegible]
井筒[illegible]　・[illegible]
[illegible]

あ[illegible]　・[illegible]
[illegible]ハ[illegible]井筒[illegible]
[illegible]　・[illegible]
[illegible]

野宮

・[illegible]
[illegible]　・[illegible]
[illegible]　・[illegible]

軒端梅

・花の[illegible]　・[illegible]
[illegible]　・[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

逆妻して　・水くさもねたくすり　・流落して流落入流入
・流も衰の句ゑ　・愛執の色　・侍従もなく
思ひよる妄執の

宋女

・接法入道もつくしなわぎもの　・お蔭ひづくは水を
ひ[illegible]　・ひとりよふ四つ　・ゆてよりの紀あの
・ゆくる　・かづくきの大君のうてうみちれく
ゆりもるまの守ひ　・おとうの名ゆ　・ゆけ
ちうもしかの　・ゆうしたる大君の白さ
ましふ宋女絵　・女入道　・たりのもの歌の
情よ　・ひ絵もすう　・帝　・流書
ひくくうの心の井れあ　・紀ちいなの紀ちの紀れ紀
ひくけ　・風も　・節よ　・毎食ものすうや
・方ゑ人のり衣様とかづす　・ゑ高の井さんて山不
くくすす　・張りくうのと雅衣のおとてとつきね

佛原

・皆佛いくくかいし　・菊や　・黄年氏物や　・伝岐王妓
廿佛ゆかくて容顔美曲花めきて世よるあたるの松女
ゑしふ　・ゆ高れ　・流れ　・だやみを世す　・思ひの外
・ゆ　・黄ゆくうい枝お紀め今又詩
・ゑひ　・秋ハ非くす　・名代の松ゑむ　・ゑ乃
・紀東いづくく白ゑれ　・くのあい世京の　・めよくゑ
・ゑだおも　・あゑれ　・海の草笠入　・悲ゑうもも
ゑ世ゑくん

市茅

・すゑ姫ゑもゑくの　・門の掛戸をおあけて客あり
ゆ茅ゑるなみくの　・ゑ紀ゑ君脇ゑの住いて
ゆゑ　・ゑりときけいい　・ゑくうの句ゑ　・ゑよ声ゑて
・猫も當　・今世紀伝　・ゑ世て海れ
ゑ紀ゑゆゑ枝ゑ世今ゑも忘れぬ
・多ゑくゑ茅ゑ　・よりてゑゑ　・よりてゑ
・海のくゑゑる花のゑゑ　・ゑ京の門従も文ゑ
ゑみの影よ入て

場貴肥

[illegible]

草堂入

[illegible]

東北

すゑも姫ぎみ

[illegible]

楊貴妃

[illegible]

夕顔

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はるばるとのぞんだ

玄林院

・花ざかり　男女ゆき、まの向乃月よ那ましあ　・りだ乃

衣ハ白く〳〵がるよ

藤の花

・青男う月冠して奈良の京　春日の里を願ねまし　月

・高花ハさく〳〵山ハ　春のひとびを　月よ住を　牡鹿なり

しゑ花ハ　更郭の男もなかるゝ　・深間の春な

・月もや　・家り為たる八橋のぶ過ぎ　・流生海

波乃みぎ〳〵ハ　乃りや　春や世の人生

小堀

・老鶯や　・かぐらん　・地　・橋ホのみをか

北りの陰ごろも　・ふ月あとハ　・ふるま

しゑ　清ハ　・花　・花　・月

を花〳〵ふ　・ぶ　・孫ぎ

・ぶ乃ちの　・ぶ　・ぶ

・我　・ぶ　・ぶ

・ぶ　・ぶ

花菖蒲

・花菖蒲　・赤のあ　・山里よ

おのゝ　・仏星を　・人の

・千よを　・月　・河の

吟ずて　・月

・菊の

・菊　・紀の

面　・ふ

並ぶ　・ふ

無郭

・牛車　・秋海　・藤の

・藤　・行京

・地蔵堂

・芸無乳根式之

・家り花軒

・月

・いろりの山　・紅葉の　・秋又

・月　・月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紫式部

浮舟

柏木

角田川

[illegible]

手の松に立波の色[illegible]

角田川

武蔵の中[illegible]

南むき所ゝ強御[illegible]

[illegible]

柏崎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

桜川

[illegible]

花筐

[illegible]

芦刈

[illegible]

安宅

[illegible]

方士の民亭より参りたるゆゑ丈人はかの長生
界の仙世なるゆゑ人乃ち人の心ゆゑ祭りの心を移す

恭山翁見ぶまゝして居る丈

芦刈

猛士のよび寄せ清ゝ

沖の小島

宋世の盃ゝ有ゝ紙の屏風

まつの葉

葉の紅ゝ残ゝ

ゆく姫のゆくゝ丈婦の心を移りゝ

安宅

後の衣も通ぶ〳〵生ぶ

名残ある家世の姫人別も

雪小しかゞして

数の並ゝ花の

宮も世は未世ぶ

ゆくゝ

縁ある人なりとも

を去る日は神参りあゝ

できかねゝ

冷泉朝廷ぶ

悩のゆゝ

丈現世

たちかぬゝ

ゆゝ

縁木

ゆゝ

ゆゝ

世はゝ

ゆゝ

盛久

ひよゝ

馬の

世ゝ

ゆゝ

ゆゝ

ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三輪

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅枝

[illegible]

富士太鼓

[illegible]

天鼓

[illegible]

[illegible]

天数

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業花の花びらしいびらぬ[illegible]ゆゆしかれ間ハ　人命ハ[illegible]
いのちのうちの業花こそ度のみふは光陰で
あるもの業花の一種花よりひのものが数十の

梅蔵　あるかなき

やまとの国の花と名くのかの
[illegible]

博大土蓄建蔵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

少納言は能因歌枕を見て常の冊子をわかてり

さぶらひ　尽くさぬ　秋の夜の

板下信

月は見ぬ秋とぞ思ふ　秋の夜の

つきてせうぐとるべのちはいかがしつらがくと

くてあるらや

又あるものしらせをお

むものつゆ入ひけるうらに世を古川の水れくるに

あれいくよ　それわもてくとをもちづ

もしばてあるばくゆしそ　それハ大小の　皆公仏

をるたりあり　少ハ白の　素くひりある　東小ハ

しのわりれ川ゐ　ふるよりあるく　ふるの

おくの　山年月の　えとを未代よ

いそのぶのいとつしぐ　色よハ出しつるとをかしの

花月　地そのの橋　西八ばりん

大ぶよ　ふるかりるる　道服　ふるく　板上の田村れ

句と書御の　北良の峯れ　えくとふるたぐつ

大ふあるあ　ゆくり　ふるくて我父よ

ふるくよ

富摩

出一家よ後いりくあ吹秋の　薬師の内ゆりよ横

郷乃ちくちくくるるくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又ず家の　見とまるべくもの
小てのの歌の　ぞと人のの詠言

卒塔婆小町

家紋よりも貴族つくり　花よりたるもの　月の碑　はい波
りし　文の中　ほしゆかる　ぐるまの
てちりくるまに　乞食　雙蝶もろ人の

合戦の話題　ようにまつ

京法

我ぐるようしに男子と　誰やの人の情　そうこ
いのすく　訪らいん　相文　酒　おくるぶく
よする浪と　長の下武男　松ぐよ　ばわ
かいこもてわもこそ　平家の　鮮　所のろ
しかのさかりかぐ　松しぐ　さ
しの唯一多

俊寛　文も茎く菊の水
春色　変ちりて又
馬　公紙　おろ
ぐよ　みる　ゆ　ぬ
花　ちんぐ　ろ

鉢木

梅　ぎりやろ　ぐ　ぐ　ぐ

梅をきりやうしつらぬ　瀬ハ山里の花樹
垣の　花樹切くづく火樹
て　風流あまたしく　ふ　ふ　ふ

通小町

・ふかくせんとぞ思ひわりなき海苔、野菜の二汁

椎ば

・山ぢのさくら花の一枝哀の句と申あるてらの句

・ちぶりしぐるゝよりぞ哀しのこゝろ花佛の

・ほのぼのとしらこゝろ山の月や　・市原野をゝ不

住ものを　・浮世一人成仏の句は村思ひ　・かひもを

・ゆゝしくもくりぶつ　・柳は小野小町の

・市来西ひと花

・紙ばんげよ山ぶをく　・山科の石情の墨小馬八あ

・まて見ぬおくの山ちり　・オの浮世しるを

・くれの鼠小八　・海の面に　・ゆつ月小

・なりぬべうてあるを海八　・文をもめきて

・見れるひ白しの　・待くんものと

・あれそをバ月もあの山の井戸ぬ柳ぬ　・あゝ蓮

・月夜ひきはくろ　・鶴は

・世阿花

・ぶちむりの長よの　・さろ八月ちかの月科

・北山年ぶる　・城月ゆく月

・ゝくふ　・猫や浮世小住んよりはたらば

・ちくんして　・世場よ財

・道も世の紀

・鶴

・ちり　・柳も仁年の山ぶよるゝ山憶ぶ　・ちくも

・一村おこり年ゝ殿乃上ふ　・よひも　・ちくを

・ちの月ふ　・三角のゝ　・はこて　・けそて

・ちのまゝ今ようも　・しゝ　・ちくさ八よみるまぶ

・海の海ちの世ちゝくまつ縄ちのゆゝよきこた

・鶴の夢おちちゝ　・ちくちゝ

・ちくさ八や　・利しゝ　・ちゝ

・ゝ海しの　・ちくちくも　・世の　・世ちゝ

道もはるけく

鶴

梅も仁平のはじめよりくちはてぬ　思ふこと
一村おこり　ふるくぶ殿のよ　よひ　ふるくぶを
あつまふ　三郎の　ふるまひ　はこと　けそと
そのまま　今よりも　しくるさいよみるまぶか
海の河の　見てつかく　まつ　絵くのぼくよきくは
鶴の　夢おそろしく　ちそ　ねぬ　やのくねそろや

ちそはや　秋しつ　やまの　ちりぬ　長くこそ　ふるの
しく　ぶしの　ちそ　ちまも　紫　女の　月の　東　ほ　ようしつ
ぶ　ぶ　ぶ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こゝを八幡若九　西塔の武蔵坊弁慶ゆゑ
山を　弁慶と長刀あか紙い紙で薙刀をこしらへ
ぶり〳〵

心地

けうさんだよ　言ふ行るきゝ　海山の
ゆ
ゆ　三月コレマデシテノウメウトコロヨリ　麓迄のた
づきも　生ずもたゝすゆ　ゆ
麓ハ海のまの新緑たゝづゆ　ゆ　ゆ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

紅葉狩

時雨降る紅葉狩り　ぬきく山路もりそう
あるいは時雨降る　岩すそ　軒端　あづさ弓
ヤリトモ　ヨミテナリ
もみぢの陰のもりもき　紅葉　もみぢ
ぬぎ捨てもてぬぎ　きぬの袖の露よりもなほ紅葉

紅葉　紅葉　紅葉　紅葉　紅葉　紅葉　紅葉　紅葉

仏の御前　めぐり　盛り　あるべき　ほとけ　しるし　紅葉の葉

ほとけ　ほとけ　ほとけ　ほとけ　ほとけ　ほとけ　ほとけ　ほとけ

だづ　だづ　だづ　だづ　だづ　だづ　だづ　だづ

火　火　火　火　火　火　火　火

夜の庭　月　月　月　月　月　月　月　月

月　月　月　月　月　月　月　月

月　月　月　月　月　月　月　月

安達原

袴の衣れ日をいくかばかりあきぬるとかぐらん

うたてやこゝにひさしきのまし

ゆり衣　言の

あるよ　ものをもとめ　ゆ多ぬ　ものをもとめ

ゆきてゝん　サヒニカヒ　ゆき　ゆきて　ゆきて

ゆきてゝん　ゆきて　ゆきて　ゆきて

ゆきてゝん　ゆきて　ゆきて　ゆきて

ゆきてゝん　ゆきて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まちなく　・芝の良家のご令達　・中ごろ
・早蕨目を引かれ　・妄法の術と今こそ
・ちゝ波のよせまきてうつやうちまち風音ちてて
・ちわきちゝ　・呼と引つて切て入り
・まゝもこうちて井入の京情を　・無坂ま大音つ
・いの曲ちゝもいの情ちゝを　・絶んて日の情に負
ちゝ　・大手とひらぐ　・ちゝ
けばちゝ

大社

・ちゝ　・柿　・出雲の出大社
八千年の神々　首れ神第也　ちて又数多のちる
の内夜第一ハあるちゝ　高貴　根て首塚の神
京備乃社をけり　第二ハ八重神代の神
天の太神乃社　国神とかごり

ひを絞ひ　・蔡　・ぐ　・ち　・い　・絶り
・ち　・ぶ　・代の　・て首塚の京　・侯の社
ぶ　・つ　・ち　・ち　・ハ建　・の神ち
・神　・の　・ち　・ち　・ち　・ち　・ち
・十月一日　・ある　・神　・の　・我ハ　・出雲の
ふ　・ぶ　・君と　・代　・詩　・ち　・ち　・ハ
・神　・ち　・ち　・ち　・ち　・ち　・ち
・ち　・ち　・ち　・ち　・ち　・ち　・ち
・ち　・ち　・ち　・ち　・ち　・ち　・ち
・ち

十月一日　あるいは神道の　我が先出雲の国
小あるべし　君とは代々　時々の　三種津　波とは
神事なり　いつもやうの　このまれ人をめぐ
まし　ちもい神おのやくやくい　是ぞ二千
余社の　諸神ハ　なりぬ　年の祝ひす

寝覚

雷鳴　なりてあらん　也
ロひとつのつゆ　あるべて

寝覚の床れ　なるよ　年を　三度　なく
蓬類　なるとつくりて　長めを　雪のよりけり　夜ハ
神　なるとなく　ゆ　ひとつ　なれより　ゆ　と
さびしき　なるなり　秋の　なり　一　大の　大
ゆよりひと　返りて　物　後より　とれば　物　秋
物の　夏　なり　長めり　なるなり

又山葵とて　しかり
小　長　枝　なり　南　ひき　なる　寝覚の床の
松の　夏　長　ゆ　なり　松　ハ
なるの　春　なり　也　何　花　春　張　まる
ぐ　なるの　春　なり　なるなり

雅　南　葉　なる　なり　なる　あり　なる
なる　なり　なる　なり　なる　なる　なる
あり　なる　なる　寝覚の床　なる　なる

板島

なる　代の　時　なる　なる　なる
なる　海　安　なる　なり
見る　・　高　仁　天　の　海　なる　なる
眼　自　見　なる　なる　なる
なる　なる　なる　なる　天

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

板島

[illegible]

[illegible]

[illegible]

岩うとけしたしたした

知章

難波南海より筆とくし朔馬

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

・藤川之西ノ渡ハ、遠江ノ国ニ義
・ちとせのまつ世ふるかぜ
・あまもしほ心ぐるしき津の国入
・まつ君を待て帰るさ
・[illegible]
・[illegible]
・[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月[illegible]

いとゝ

・

・

・

皆ナキニヌケルワキニテカケイツアルニ

・北風ハ

・雪ハ木花ノ如ク

・雪ハ

・雪ハ

・雪ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出雲金剛の[illegible]
と拔きて[illegible]

・秘術[illegible]を強[illegible]
乃化現[illegible]心を[illegible]たり。・金剛寺

・金札

動[illegible]ねのもの[illegible]金乃市札[illegible]
[illegible]は西階乃[illegible]
書人[illegible]仁像著[illegible]
の神の[illegible]沖[illegible]
[illegible]仏の[illegible]
[illegible]の宣[illegible]
[illegible]
[illegible]曲[illegible]
[illegible]

[illegible]沖[illegible]知[illegible]
[illegible]て神の[illegible]
[illegible]秘[illegible]
[illegible]神乃[illegible]
[illegible]
[illegible]

合浦

一樹の法花経も

合浦の海はうこるとき

裳緒

神くらの中の言の葉と心の中に掛つゝ公に奉てまつり

法花経とまつらつゝ

うちつゝを心縄をうちくゝ

[illegible]

[illegible]

れ[illegible]神とすゝしつゝ

[illegible]

[illegible]

項羽

[illegible]

[illegible]

[illegible]

・かくるきのしたもとよのはかぜ　神の御命　ふりぬとも　・糸ばくるの
ぬのくきくう　思ひ　ゆる　ちあくハ　後切と　まつ　そら

れ　ぬ　神　と　すくしつ　ふ　・ちあれ　ぞ　すのうち　金
・花　ぬ　と　ゆ　て　神　ふ　ま　ま　す　ま　て　・葉　と　あ　く
・な　世　の　ゆ　く　無　ゆ　り　・ゆ　よ　ま　く　ま　ゆ　て　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
神　と　ゆ　り

項羽

・前　の　り　夢　と　ゆ　む　・萩　の　ま　ゆ　も　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
・天　つ　ま　ま　直　海　を　る　る　ま　ま　ま　ま　・紅　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
ま　く　ま　の　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま

擂粉木

巴

八重山茶

麻裳よし

時節の物

順繰

智謀

計略

合戦

振舞

時節の物

家柳

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鉄愉

いの瀬のあるか

あまさの

あるとき

あるとき

あるとき

・

・

・

わたくしのこゝろまことにたゞしくて
はるゝはるゝのこゝろのおもむくまゝ
はるゝはるゝのこゝろのおもむくまゝ
はるゝはるゝのこゝろのおもむくまゝ

舞城

陸奥の国の舞城のあるじは
あるじはあるかのもくもの藤けの
藤のまきものをまきつゝ
一人敬礼一社当城の明神
つまあの裏の脚をとんとの
ほかあしの焼岩は

しがの清水ふかきまつまもり
ゆゝしかりけるかしはを
しまがあの新しきゆゝしかりもわ平
ゆゝしかりのまもりゆゝしかりもわ平
ゆゝしかりのまもりゆゝしかりもわ平
ゆゝしかりのまもり

大佛供養

[illegible]

[illegible]

[illegible]